

近づく春 最高学年に向かって

もうすぐ節分、そして立春。日暮れがだんだん遅くなり、窓辺をさすやわらかい日差しからも春の訪れが感じられるようになってきました。この冬は、雪がちらつく厳しい寒さの日があるかと思えば、桜の季節を思わせるような暖かい日があったりと、寒暖の差が大きくなっています。しかし、まだまだ寒い日は続きます。どうぞお体をご自愛ください。

少しずつ春を感じる日が増えてきたとはいっても、やはりなんといっても如月の月。まだまだ寒さとはお別れできそうにもありません。寒さに負けない強い心を持って、目前に迫った最高学年への準備を始めてもらいたいものです。そのためにも、まずは『健康第一』です。勉強や遊び、家庭での仕事をするときに、時間をだらだらと使って、睡眠時間を少なくしてしまったり、好き嫌いを言って偏った食生活になったりしていませんか。家庭での生活をもう一度よく見直して、風邪などひかずに元気な体と心で、5年生として残り2ヵ月を過ごしていきましょう。

2月の学習予定

- 国語

言葉を使い分けよう
もう一つの物語
「子ども未来課」で何をする
- 社会

国土と自然とともに生きる
- 算数

円と正多角形
円の面積
角柱と円柱
変わり方
- 理科

電流と電磁石



校章・名札をつけましょう

文理小学校の児童として、大切にしてほしいものの一つに、制服があります。一見、きれいに着こなしているように見えますが、よく見ていると、校章や名札のついていない制服を見かけます。校章も名札もそろって正しい制服です。身だしなみを整えるという意味で、もう一度お子さんの制服を確認してみてください。

2月の集金 ¥1,000_

どうぞよろしくお願いいたします。



一味会当日のご案内



日時： 2月7日（土）
開演 午前9時（開場 8時20分）

駐車場： 全学年小学校運動場です。ご注意ください。
なお、お車の駐車は7時30分以降にお願いいたします。**大学の駐車場には駐車しないよう**お願いいたします。

終了後： 子どもたちが先に会場を出ますので、案内があるまで、しばらく席についたままでお待ちください。学校へ到着後は、玄関外でお待ちください。下の学年から送り出します。

毎日の学習を大切に

先日、6年生の文理中学校入試が終わり、いよいよ5年生の番になりました。これから、ますます学習に力を入れて、難しい問題にもどんどん挑戦していかなければなりません。

子どもたちの中には、少しずつ自覚を持って苦手な部分を克服しようと努力する子が出てきています。やる気のある子、積極的に学習に取り組める子は、ぐんぐん成績が伸びてきています。『切磋琢磨』という言葉通りに、お互いにより刺激を与えあって励むようにしたいものです。また、『継続は力なり』といわれるように、そうした学習をずっと続けていくことで、さらに成長していけるようにしたいですね。

生活のまとめも

5年生も残すところ1ヵ月半あまりとなりました。5年生のゴールテープが見えてきましたが、学習面だけでなく生活面でもラストスパートをかける時期です。言葉づかいや服装は乱れていませんか？ 早寝早起きはできていますか？ 余計な物を持ってきていませんか？ 持ち物に名前は書けていますか・・・？

基本的なことばかりですが、気分新たにした正月から1ヵ月が過ぎ、気持ちはゆるんでいないでしょうか。

また、入試の終了した6年生と同じ気分ではいけません。5年生の残りの期間を充実したものとしたいですね。



2月の行事予定



日	曜日	行事
1	日	
2	月	朝会（体育館練習：校歌）
3	火	2月テスト
4	水	集金 委員会
5	木	むらさきホールリハーサル①
6	金	むらさきホールリハーサル②
7	土	一味会（9：00～）
8	日	
9	月	朝会
10	火	
11	水	建国記念の日
12	木	こども宇宙プロジェクト写真撮影（9：00～）
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	朝会
17	火	
18	水	代表委員会・交通お世話係
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	
25	水	クラブ（3年生見学）
26	木	
27	金	むらさきホールコンサート（13：00～14：10）
28	土	

2026
節分
2月3日



一度立ち止まって・・・

令和8年が始まってはや1ヵ月。1月はいぬ、2月は逃げる、3月は去るといいますが、この調子で生活していると、あっという間に5年生が終わってしまいます。令和8年はまだ始まったばかりですが、1ヵ月経った今、一度立ち止まって学習や生活のことを見直してみましょう。新年に立てた計画は継続できていますか。1学期・2学期のまとめはバッチリですか。一年の始まりと学年の終わりに挟まれた今が落とし穴です。だらだらと惰性で生活せず、今一度、自分自身をゆっくりと見直してみましょう。

